

競技運営に関する注意事項【天皇賜杯】

- 1 本大会は、2023年公認野球規則を適用する。
- 2 大会要項に定められている事項は、チーム全員に徹底のこと。
- 3 ベンチサイドは、組合せ番号の若い方を一塁側とし、決勝戦まで適用する。
- 4 シートノックは、原則として行わない。
- 5 球場内でのフリーバッティングは認めない。
- 6 ベンチ入り人数は、ユニフォームを着用した監督を含む選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。
- 7 打順表の提出は、その日の第1試合開始予定の30分前までに、大会参加届に記載のある選手全員を記入のうえ、本部へ6部提出し、攻守を決定する。
第2試合以降は、前の試合の4回(7イニング制)または、5回(9イニング制)終了時に行う。
- 8 試合開始時刻になっても、会場に到着していないチームは原則として棄権とみなす。
- 9 試合開始予定時刻前であっても、前の試合終了後20分を目安に次の試合を開始する。
- 10 雨天でも試合を決行する場合もあるので、必ず本部の指示を受けること。
※正式試合…9回戦については7回、7回戦については5回終了とする。
※得点差によるコールドゲームの適用。
 - ①9回戦…5回を終了して10点差が生じた場合及び7回を終了して7点差が生じた場合。
 - ②7回戦…5回を終了して、7点差が生じた場合。
- 11 次の事項は、特に注意すること。
 - 1) ベンチでのメガホン使用は、監督用1個とする。また、電子機器類(携帯電話、パソコン等)の使用は禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用は認める。
 - 2) グラウンド内のファウルボールは、両チームで担当しボールパーソンに渡すこと。
 - 3) 試合が終了したチームは、次の試合のグラウンド整備に協力すること。
 - 4) 攻守交替時に、守備終了チームの最終ボール保持者は、マウンドにボールを置いてベンチに戻ること。
 - 5) 練習中であってもユニフォームを着用しない者は、グラウンドに出ることは出来ない。
 - 6) 試合が開始されたら、控えの選手は試合に出場する準備(交代選手のキャッチボール)をしている者の他は、ベンチ内にいなければならない。
ただし、攻守交代時に限り、控え選手がファウルグラウンドで外野の方向へランニングすることを認めるが、控え選手がベンチを出て守備練習を見守ること、および

- 投手の準備投球に合わせて素振りすることを禁止する。
- 7) 次打者席でのマスコットバット等の使用は、プレーに支障の無いよう適切に処理すること。
 - 8) 走者による足を高く上げてのスライディングや野手の空タグは禁止する。
 - 9) プレーヤーが塁上で腰を下ろすことは禁止する。
 - 10) 打順表交換（4回若しくは5回終了時）後のブルペン使用は、先発バッテリー1組とする。
 - 11) 相手チームや審判に対する聞き苦し野次等は、禁止する。
 - 12) 試合のスピードアップには、全員で励行のこと。
 - 13) 抗議は、監督・主将・当該プレーヤーのうち1名とする。
 - 14) 打者走者は、本塁・一塁間後半を走塁する場合は、スリーフットライン内を走ること。
 - 15) ロージンバックは、投手後方のバッターの視野に入らない位置とし、手に持たず指で触れる程度とする。
 - 16) 競技場内に、ダートサークルを設けることとし、その意味を理解すること。
 - 17) 捕手及びブルペン捕手は、プロテクター、レガース、マスク、捕手用ヘルメット及びファウルカップを必ず着用のこと。
- 12 延長戦・タイブレーク方式・特別継続試合は、連盟特別規則による。
- ①延長戦は、9回を完了し同点の場合は、試合開始後3時間を経過するまで延長イニングを行い、3時間を経過してなお同点の場合は、タイブレーク方式により勝敗を決する。
 - ②タイブレーク方式は、競技者必携に記載されている、連盟特別規則（継続打順・無死1・2塁）のとおりとする。なお、各塁に位置する走者は、背番号をバックネット方向に向け、本部及び記録員の確認を受けること。
- 13 大会出場チームの意匠は、次のことを留意すること。
- 1) ユニフォーム・アンダーシャツ・帽子は、全員同じであること。
 - 2) 県名は左袖につけること。
- 14 その他、記載のない事項については、2023年競技者必携に準ずる。

【会場連絡先】

- A: 二戸市:二戸市営大平球場 吉田慎太郎 080-5227-8448
B: 八幡平市:八幡平市総合運動公園野球場 岡田紀昭 080-3005-1663